



本庄市保健センターの事業.....対象者は本庄地域にお住まいの人です。

内容	日時	対象	その他
3～4か月児健康診査	2月20日 受付/午後1時～1時30分	平成18年10月生まれ	対象者に通知します。 電話による育児相談も随時受け付けています。
9～10か月児健康相談	2月20日 受付/午前9時30分～10時	平成18年4月生まれ	
1歳6か月児健康診査	2月23日 受付/午後1時～1時30分	平成17年7月生まれ	
2歳児健康相談	2月21日 受付/午前9時30分～10時	平成17年1月生まれ	
3歳児健康診査	2月21日 受付/午後1時～1時30分	平成16年1月生まれ	
BCG予防接種	2月2日 ..... 3月6日 ..... 受付/午後1時～1時30分	平成18年10月生まれ 平成18年11月生まれ	対象者に通知します。 接種可能な月齢は6か月未満です。
コアクラス (育児学級)	2月15日 午前10時～11時30分	2～3か月児と保護者	対象者に通知します。
カンガルー広場 (情報交換の場)	2月15日 午前9時30分～正午	0～2歳児と保護者	おやつを持ち込みはご遠慮ください。
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	2月22日 午前9時30分～11時30分		前日までに電話予約してください。
おや親タマゴ(全4回)	2月2日・9日・16日・17日 午前9時30分～正午	これからママ・パパになる人	初日の前日までに電話予約してください。17日はできるだけご夫婦でご参加ください。児玉地域の人も対象。

児玉保健センターの事業.....対象者は児玉地域にお住まいの人です。

内容	日時	対象	その他
3～4か月児健康診査	3月6日 受付/午後1時30分～2時	平成18年10月～11月生まれ	対象者に通知します。 電話による育児相談も随時受け付けています。
9～10か月児健康相談	3月6日 受付/午前9時30分～10時	平成18年4月～5月生まれ	
1歳6か月児健康診査	2月21日 受付/午後1時30分～2時	平成17年8月～9月生まれ	
2歳児健康相談	2月20日 受付/午前9時30分～10時	平成16年12月～平成17年1月生まれ	
3歳児健康診査	2月20日 受付/午後1時30分～2時	平成15年12月～平成16年1月生まれ	
BCG予防接種	2月16日 ..... 3月2日 ..... 受付/午後1時30分～2時	平成18年10月生まれ 平成18年11月生まれ	対象者に通知します。 接種可能な月齢は6か月未満です。 終了後のひよこクラスにもぜひご参加ください。
ひよこクラス (育児学級)	BCG予防接種後に開催します。		
ゆうゆう広場 (情報交換の場)	2月5日・3月5日 午前9時30分～正午	0～3歳児と保護者	おやつを持ち込みはご遠慮ください。
すくすく相談	2月15日 午前9時30分～11時30分		前日までに電話予約してください。

## 休日急患の診療

休日急患診療所（本庄市保健センター内 2003）  
 診療時間 午前9時～午後4時  
 診療科目 内科・小児科  
 健康保険証を持参してください。

### 在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

2月4日	本庄皮膚科形成外科医院	本庄市	3 2 3 3
2月11日	児玉清水クリニック	本庄市	㊦7 5 4 3
2月12日	千 田 医 院	美里町	㊦0 0 4 1
2月18日	関 根 外 科 医 院	本庄市	3 5 9 6
2月25日	関 口 外 科 医 院	上里町	㊦8 2 0 8
3月4日	田 所 医 院	本庄市	3 4 4 5

119番は、緊急時（火災やけが人など）の受付専用電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、児玉郡市広域消防本部指令課（1119）でご案内していますので、ご利用ください。ただし、診療科目によっては、県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

障害者生活支援センター『さわやか』  
 5620 FAX 5640

### 同じ障害がある人による相談

肢体不自由の人 随時受付  
 聴覚障害のある人 14日  
 視覚障害のある人 18日  
 理学療法士による相談  
 身体障害のある人 17日  
 介助教室  
 介助の人 24日  
 もの作りクラブ  
 身体障害のある人・その家族 23日  
 絵手紙教室  
 身体障害のある人・その家族 24日  
 は市民プラザで実施します。

時間 午前9時30分～11時30分  
 午後1時～3時  
 午後1時30分～3時30分



## 医療メモ

本庄市児玉郡医師会広報部

### 冬の食中毒にご用心！

ノロウイルスについて

食中毒は、細菌やウイルス、自然毒化学物質などが原因となって発生します。

食中毒というと梅雨時や夏に多いイメージがありますが、冬も多く発生します。その原因の多くは『ノロウイルス』によるものです。

### 主な症状は？

ノロウイルスに感染した場合の症状は、突然の腹痛とたび重なる吐き気、吐き気が治まった後には、急激かつ激しい悪寒が続く、さらに発熱を伴うこともあります。これらの症状は通常では1、2日で治癒し、後遺症が残ることもありません。

ただし、免疫力が低下した老人では、死亡した例（吐いたものをのどに詰まらせることによる窒息死や誤嚥性肺炎による死亡）も報告されているので、注意が必要です。

また、感染しても発症しないまま終わる場合（不顕性感染）や、風邪と同様の症状が出るだけの場合もあります。しかし、こうした場合の人でもウイルスは糞便内に排出されていますので、注意が必要です。

### 感染経路は？

ノロウイルスは、食品内で増殖するのではなく、感染者の腸内で増殖し、糞便内に排出されます。そして、下水を通じて河川・海へと流れ、カキなどの二枚貝の内臓に蓄積されるのです。このようにしてウイルスに汚染された二枚貝などを生のまま食べたり、不十分な加熱調理で食べたりすることによって、また、手や調理器、感染者の便やおう吐物からの二次感染によって、食中毒になります。

### 感染防止と予防のためのアドバイス

#### 加熱処理で感染防止

ノロウイルスは熱に弱いので、カキなどの二枚貝を生のまま食べることはできるだけ避け、十分に火を通して食べるようにしましょう。

#### 洗って予防

トイレの後、調理の後、また食事の前にはよく手を洗いましょう。調理器具もよく洗い、熱湯消毒しましょう。

#### 二次感染に注意

感染者の便やおう吐物を片付けるときは、ビニール手袋を使用して、直接手に触れないようにしましょう。また、使った雑巾などは塩素性の漂白剤で消毒しましょう。

### ノロウイルスによる食中毒にかかってしまったときは？

おう吐や下痢などの症状があるときは、水分を多めにとり、早めに医療機関を受診しましょう。